

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	高知県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	高知県文化遺産活用活性化事業		
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>1. 高知ヘリテージマネージャー・サポーター養成講座事業 ヘリテージマネージャー（歴史文化遺産活用推進員）とその活動を支援するヘリテージサポーター（歴史文化遺産活用支援員）を育成するための講座を開催することにより、県内に残る歴史文化遺産の保全と活用に関する専門家を養成し、重要伝統的建造物群保存地区の修理や修景にかかる事業、及び登録有形文化財（建造物）の修理などを効果的に実施できるようにする。また、登録有形文化財（建造物）を新たに発見することにより、文化財の保護を図る。</p> <p>全体計画としては、平成27～29年度の3か年間で少なくとも70名の修了生を育成し、見直し調査、実測調査、歴史的建造物の設計監理に直接関わるヘリテージマネージャーを35名確保することを目標に国庫補助を受け実施する計画であり、平成30年度以降は自主開催を基本とし、状況に応じ開催する。</p> <p>2. 土佐和紙伝承・普及啓発事業 手すき和紙である土佐和紙の生産者は、高齢化や生活様式の変化による市場の縮小などにより減少傾向にあり、また、手すき和紙についての認知度も十分とはいえない。</p> <p>このため、平成28年度～29年度において、高知県を代表する和紙である典具帖紙や清帳紙を中心に、土佐和紙を渡くために継承されてきた用具の修理を行うとともに生産技術伝承事業（手漉き和紙生産者による和紙の原料や生産用具についての研修を含む。）や普及啓発事業等を実施することにより、手漉き和紙技術の伝承と、併せて土佐和紙を広く知ってもらうことを目指す。</p>			
6 実施体制			
<p>1. 高知ヘリテージマネージャー・サポーター養成講座事業 本事業の実施にあたっては、高知県（教育委員会文化財課）が全体計画の企画・調整や事業の指導等を行う。</p> <p>また、当該事業については、公益財団法人高知県建築士会等の役員及び高知県土木建築指導課職員、高知県教育委員会文化財課職員、学識経験者によって構成され（公社）高知県建築士会、高知県土木建築指導課や学識経験者などで構成した次の団体が実施し、（1社）高知県建築士事務所協会、（公社）日本建築家協会四国支部高知地域会、高知県立大学、高知工科大学、高知工業高等専門学校から後援をいただいている。</p> <p>高知ヘリテージマネージャー・サポーター養成講座実行委員会</p> <p>2. 土佐和紙伝承・普及啓発事業 本事業の実施にあたっては、高知県手すき和紙協同組合が全体計画の企画・調整や事業の指導等を行う。</p> <p>また、当該事業については、次の団体が実施する。</p> <p>土佐和紙保存会 〒781-2128 高知県吾川郡いの町波川287-4（高知県手すき和紙協同組合内）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 1,119 千円	平成29年度申請額： 714 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>県内にある重要伝統的建造物群地区の修理や修景にかかる事業や調査事業、及び登録有形文化財（建造物）の修理などに貢献できる人材を増やすことができ、事業や修理を効率的に行うことが可能となる。</p> <p>また、県民の地域文化遺産に対する関心や意識が向上し、保存と次世代への継承とともに、地域の活性化が期待できる。今後は、埋もれていた歴史的建造物を発見し、新たに登録有形文化財（建造物）とすることにより保全と活用を図ることができるようになる。</p> <p>さらに、将来予測される南海トラフ地震で、歴史的建造物が被害を受けた際には迅速な対応が可能となる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	高知県教育委員会事務局文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	養成講座受講後に見直し調査、実測調査、歴史的建造物の設計監理等に関わった人数			関連事業 :	人材育成	
目標値 1 :	平成 27 年度	10 (名)	⇒	平成 29 年度	35 (名)	
設定根拠 1 :	養成講座を受講した修了者を基準に、具体的な指標2に関連した人数					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
(名)	(名)	10 (名)	25 (名)	(名)	(名)	
		0%	60%			
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2 :	土佐和紙保存会会員数			関連事業 :	後継者養成	
目標値 2 :	平成 28 年度	12 名	⇒	平成 29 年度	12 名	
設定根拠 2 :	手漉き和紙職人数減の状況から、現状維持の設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
名	名	名	12 名	名	名	
			#DIV/0!			

